

科目名 Course Name	国際文化論入門 Cultural Studies			ナンバリング No.	A2-011		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	廣澤 圭則						
連絡方法	質問等は授業終了後、あるいはC-Learning 上にて受け付けるものとする。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	<p>古代～近代におけるヨーロッパ、アジア文化の成り立ち、変遷、そして衝突といった文化史のアプローチから国際文化論を習得できるようにする。</p> <p>① 本講義を通して、世界における文化の成り立ちについて学ぶものとする。</p> <p>② 国際文化論について、深い教養と洞察を身に着けることができるようにする。</p> <p>③ 世界の歴史を学ぶとともに、国際文化の基礎的知識を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	<p>パワーポイントを用いた講義形式にて授業を行う。</p> <p>補足教材として、レジュメを授業毎に配布する予定。</p> <p>生徒諸君の理解度を図るため、期末試験に該当するプレゼンテーションを実施してもらう。</p>						
学習成果	L01	国際文化の礎となる諸概念について学ぶことができる。					
	L02	学習を通して、国際文化の歴史について考察することができる。					
	L03						
	L04	現代の国際文化の現状についての議論、推察をすることができる。					
課題に対するフィードバック	授業について質問があった際はメールまたは文書にて各自フィードバックする。						
教科書/参考図書							
履修上の留意点やルール等	<p>① 折を見て質問を投げかけるので、生徒諸君は質問に回答できるようにしておくこと。</p> <p>② 遅刻は原則認めない(当日やむを得ない場合は学生支援課を通じて連絡すること)</p> <p>③ 外国人生徒へ。本授業はより高い日本語技能が必要である。 (To foreign students. This class requires higher Japanese language skill)</p>						
担当教員の実務経験	<p>●実務経験(職種:サービス業 職歴:13年)</p> <p>(科目名:国際文化論入門)管理職としての経験から、新社会人になる生徒諸君が自分で思考したことを、自分の言葉で話せるよう、講義を通して導いていく。</p>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に参加する積極的態、こちらからの質問に対して自身の意見を明瞭に述べられた場合は満点する。		30		
レポート/作品	出欠確認も兼ねたレポートを提出してもらう。授業に対する理解が反映されていた場合、既定提出回数に到達した場合は満点とする。		15		
発表	プレゼンテーションを実施してもらう。発表内容と質疑応答について、自身の考察が明瞭かつ論理的に述べられていた場合は満点とする。	40			
小テスト	授業の理解度を示すため、適宜実施する。		15		
試験					
その他					
合計		40	60		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、成績評価等について)、イントロダクション
	事前・事後学習	ガイダンスの内容に基づき、履修の決心を固めること
2	授業内容	西洋文化① エーゲ文明の勃興、ギリシャの発展とペルシア帝国、東西文明の衝突
	事前・事後学習	ギリシャとペルシア、それぞれの文明の違いを予習しておくこと
3	授業内容	西洋文化② アレクサンドロスの世界帝国と東西融合の夢、ヘレニズム文化
	事前・事後学習	アレクサンドロス(アレクサンダー大王)について予習しておくこと
4	授業内容	東洋文化① 春秋戦国時代、万里の長城、シルクロードと張騫
	事前・事後学習	古代中国の歴史と文化を予習しておくこと
5	授業内容	西洋文化③ ローマ帝国の隆盛、カエサルとクレオパトラ、キリスト教のはじまり
	事前・事後学習	ローマ帝国とその文化について、予習しておくこと
6	授業内容	東洋文化② 三国志と倭国、隋と聖徳太子、唐の玄宗と遣唐使
	事前・事後学習	古代～中世における日中関係を独自に調べておくこと
7	授業内容	西洋文化④ ゲルマン民族の大移動、カール大帝とフランク王国、ローマ教皇
	事前・事後学習	現代ヨーロッパの礎となったフランク王国について予習しておくこと
8	授業内容	東洋文化③ 十字軍と東西交流、モンゴル帝国とタタールのくびき、元寇
	事前・事後学習	モンゴル帝国がアジア、ヨーロッパに与えた影響を独自に調べておくこと
9	授業内容	西洋文化⑤ 大航海時代と新世界発見、コロンブスとマゼラン、征服者による蛮行
	事前・事後学習	大航海時代とその功罪について予習しておくこと
10	授業内容	西洋文化⑥ フランス革命の勃発、ナポレオンと大陸支配、産業革命と労働問題
	事前・事後学習	フランス革命とナポレオンについて予習しておくこと
11	授業内容	西洋文化⑦ 植民地時代のアメリカと独立戦争、西部開拓時代、鎖国時代の日本
	事前・事後学習	アメリカの歴史と最初期の日米関係について、独自に調べておくこと
12	授業内容	東洋文化④ アヘン戦争と太平天国の乱、インド大反乱と独立運動
	事前・事後学習	当時の中国とインドが置かれた苦境について、独自に調べておくこと
13	授業内容	学生によるプレゼンテーション①
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと
14	授業内容	学生によるプレゼンテーション②
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと
15	授業内容	学生によるプレゼンテーション③
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと